

2025年度 第466回教育研究審議会議事要録

日時 2026年3月17日(火)13:30~15:20
場所 本館 E-701 会議室
出席者 柳井学長、中武副学長、後藤副学長、内田副学長、寺田副学長、中本事務局長、
篠崎外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、井上国際環境工学部長、
西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、
深谷学生部長、狭間教務部長、神原基盤教育センター長、永末入試センター長、
浅羽情報総合センター長、中澤環境技術研究所長、ヘイルズ学長補佐

- 配布資料
- 1-1 欠員補充申請書(国際環境工学部)
 - 1-2 退職願(外国語学部)
 - 1-3 教育職員の休職に関する審議について
 - 1-4 教育職員に対する懲戒処分に審議について
 - 2-1 特任教員の選考について(外国語学部)
 - 2-2 特任教員の選考について(国際環境工学部)
 - 3 特任研究員の選考について(国際環境工学部)
 - 4 国際環境工学研究科のカリキュラム再編について
 - 5 J-PEAKS 推進委員会の設置について
 - 6 北九州市立大学大学院次世代研究者挑戦的研究プログラム実施規程一部改正について
 - 7 物品等の発注における教員発注の限度額の変更について
 - 8 産学連携協定について
 - 9-1 ハラスメント対応関連規程の改正について
 - 9-2 新旧対照表
 - 9-3 問題処理のフローチャート(見直し後)
 - 10 旅費制度の見直しについて
 - 11 2025年度卒業予定者の就職内定状況について(2026年2月1日現在)
 - 12 2027年度一般選抜後期日程における大学入学共通テスト「外国語『英語』」の利用配点の内訳変更について(国際環境工学部)
 - 13 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書
 - 14 Teamsを利用したCEO詐欺と対応について(報告)

第1号 教員の人事について

- * 資料1-1のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2025年3月31日付で退職した藍川昌秀教授の後任として、環境化学工学(環境プロセス分野)担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

- * 資料1-2のとおり、外国語学部からの申請に基づき、政所大輔准教授の2027年3月31日付での退職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

- * 資料1-3のとおり、教育職員の休職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料 1-4 のとおり、本学教員に対する懲戒処分について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 特任教員の選考について

* 資料 2-1 のとおり、外国語学部の特任教員 1 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 資料 2-2 のとおり、国際環境工学部の特任教員 1 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 特任研究員の選考について

* 資料 3 のとおり、国際環境工学部の特任研究員 1 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 国際環境工学研究科のカリキュラム再編について

* 資料 4 のとおり、国際環境工学研究科のカリキュラム再編について提案。

● 科目名の英語表記に誤りがある。

○ 指摘箇所については、修正する。

【議長】一部資料修正の上、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第5号 J-PEAKS 推進委員会の設置について

* 資料 5 のとおり、J-PEAKS 推進委員会の設置について提案。

● 基盤教育センターの教員が同委員会の委員となっているが、永続的に基盤教育センターから委員を出し続けるものではないと理解してよいか。

○ 教員の専門性を踏まえて、委員を指名しているため、基盤教育センターから永続的に委員を出し続けてもらうわけではない。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第6号 北九州市立大学大学院次世代研究者挑戦的研究プログラム実施規程一部改正について

* 資料 6 のとおり、北九州市立大学大学院次世代研究者挑戦的研究プログラム実施規程一部改正について提案。

○ 次世代研究者挑戦的研究プログラムが令和 9 年度から新制度に移行するため、これに対応して本学の規程を一部改正するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第7号 物品等の発注における教員発注の限度額の変更について

* 資料7のとおり、物品等の発注における教員発注の限度額の変更について提案。

- 3月27日に開催される役員会において、物品購入等に際して見積合わせが不要な金額を50万円未満までに引き上げる公立大学法人北九州市立大学契約規程の変更を予定している。その変更に合わせて、教員発注限度額を50万円未満とするもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第8号 産学連携協定について

* 資料8のとおり、産学連携協定について提案。

- 新学部における実践的な共同教育の推進を目的とした産学連携協定を1社の企業と締結するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第9号 ハラスメント対応関連規程の改正について

* 資料9のとおり、ハラスメント対応関連規程の改正について提案。

- 社会情勢の変化やこれまで対応してきたハラスメント事案等を踏まえ、より迅速・丁寧な対応を図り、より実効性のある制度とするため、ハラスメント対応関連規程の改正を行うもの。
- 学部長が対応する際、事務局のサポートはあるのか。
- 基本的には、学部長に対応をお願いしたいと考えているが、案件によって事情は様々であるため、必要に応じて事務局に相談してもらいたい。
- 相談者が学生の場合、いずれの学部のハラスメント相談員に相談してもよいかと思う。ハラスメント相談員の学部以外の学生が相談に来た場合、どのように対応すればよいか。
- 問題が発生した学部につないでももらいたい。
- 学部長等による対応は、すべて学部長等が進めなければならないか。
- 学部長等に進めていただくことになるが、案件によって対応は様々であるため、事務局に適宜相談していただきたい。
- 事案が発生した後は、学部長等にしか情報が渡されないのか。
- 人権・ハラスメント問題協議会にも情報が渡るようになっている。軽微な事案は、学部長等に対応してもらい、重大な案件については同協議会と学部長等が連絡を取り合い、対応することになる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

- ① 旅費規程の改正について
- ② 2025年度卒業予定者の就職内定状況について
- ③ 2027年度入試の変更点について(国際環境工学部)
- ④ 教員の海外出張について
- ⑤ Teamsを利用したCEO詐欺と対応について